

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

超低臭 弱溶剤 特殊架橋形 NAD 樹脂塗料

モルシュ

- 超低臭
- シミ・ヤニ止め
- 防かび

塗替最適

セラミック配合



スズカファイブ



塗装時のいやな臭いを解消しました。

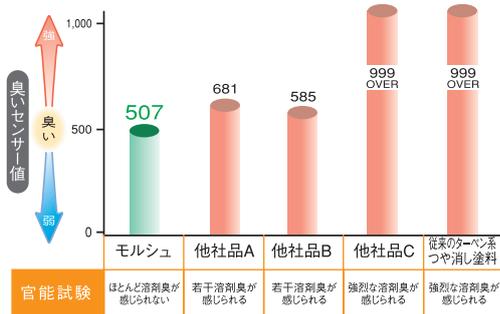
モルシュは数々の特性がある丈夫なつや消し仕上げです。

建物の塗替時、材料の選択基準として、臭いがクローズアップされています。モルシュは、NAD樹脂の特性を最大限に生かし、低臭の技術を追求した屋内外部つや消し塗料です。防かび性、ヤニ・シミ止め性、耐結露性、汚染除去性、付着力、耐久性に優れ、塗替に最適な塗料です。

特性と用途

超低臭

溶剤系塗料特有の刺激臭や残存モノマー臭の異臭がありませんので、病院、工場、学校など、臭いの少ない塗装が求められるところに。



低温造膜性

低温時でも、造膜しますので冬の塗装に。

付着力

付着性、浸透性が塩ビ系塗料並みに優れ、セロハンテープでもはがれません。塩ビ塗装の代替、いろんな素材が混在している場合に。

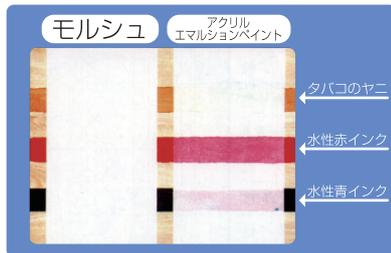


適合素材

- モルタル
- コンクリート
- サイディングボード
- 押出成形板
- スレート
- PC パネル
- ALC パネル
- せっこうボード
- かき落とし
- コンクリートブロック
- 木部
- 鉄部

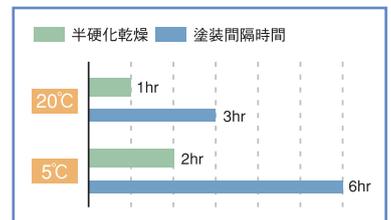
ヤニ・シミ止め

タバコのヤニ・シミ止め機能が優れていますので、会議室や集合所など、タバコのヤニの汚れがあるところに。



速乾性

シーラーが不要、乾燥が速いため、1日2回塗りが可能です。また塗装日数が少ない場合に。



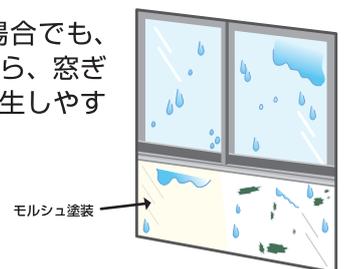
防かび性

防かび性に優れていますので、厨房、脱衣所、地下室などで、かびが発生しやすいところに。



耐結露性

塗装後に結露が生じた場合でも、シミあとが残りにませんから、窓ぎわなどの壁面で結露が発生しやすい箇所に。



旧塗膜適合性

弱溶剤 (LS ターペン) 希釈タイプで、旧塗膜をおかしませんので、OP、EP などの上塗り、旧塗膜の種類がわからない時に。

適合旧塗膜

- EP
- AEP
- VP
- GP
- 多彩模様
- SOP
- リシン
- 吹付タイル(硬質)
- スタッコ
- エナメル
- AE

汚染除去性

水拭きで、汚れが除去できますので、人が集まり汚れやすいところ、また、汚れを落としたいところに。



非危険物

※本品は非危険物(指定可燃物)です。保管、在庫面で有利です。

塗替塗料の比較

項目	品名	モルシュ	従来のターベン系 つや消し塗料	塩化ビニル樹脂 エナメル	アクリル樹脂 エナメル	アクリルエマルジョン ペイント
塗 装 面	塗装時の臭いの強さ	○-○	△	×	×	○
	パテのうつり	○	○	△	△	○
	タッチアップ性	○	○	○	○	○
	引火性	△	△	×	×	○
	旧塗膜適合性	○	○	△	△	△
	低温造膜性	○	○	○	○	×
	はけ・ローラー作業性	○	○	△	△	○
性 能 面	乾燥性	○	○	○	○	△
	防かび性	○	○	○	△	×
	水性のシミ・ヤニ止め性	○	○	○	○	×
	耐水性	○	○	○	○	△
	耐アルカリ性	○	○	○	○	△
	付着性	○	○	○	○	△
	耐久性	○	○	○	○	○

性能

JIS K5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料による試験に準拠

試験項目	試験結果	試験条件
容器の中での状態	合格	かき混ぜた時、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	はけ塗り及びローラーブラシ塗りに支障があってはならない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
乾燥時間(半硬化)	合格	5時間以内とする。
隠ぺい率(白及び淡彩)	合格	90以上
耐水性	合格	水に浸しても異常がないものとする。(96時間)
耐アルカリ性	合格	アルカリに浸しても異常がないものとする。 (水酸化カルシウム飽和溶液 96時間)
促進耐候性	合格	塗膜に、割れ・はがれ・膨れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。 (キセノンランプ法 250時間照射)

試験項目	試験結果	試験条件	
鏡面光沢度	60度	2.1	JIS K 5600 に準ずる
	85度		
付着性	フレキ版	10点	2mm 角基盤目テープ法
	パテ面	10点	
防かび性	かび発生なし	JIS Z 2911 に準ずる (3週間後の評価)	
シミ・ヤニ止め性	にじみなし	タバコのヤニ塗布面に2回塗り	
耐湿性	異常なし	温度 50℃、湿度 90%RH、96時間放置	

標準塗装仕様 (内部仕様)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	新設の場合 ・下地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・エフロレッセンス、レイタンス、ごみ、汚れなどを除去し、不陸、巣穴、段差などは、パテまたは下地調整塗材で平滑に補修する。 【パテかい、研磨紙すり】 ・きれつ、凹部箇所にパテ付けをする。 ・研磨紙(#120~240 サンドペーパー)でパテかい部を中心に、均一にから研ぎする。 ・パテかい部にモルシュを補修塗りする。 塗替の場合 ・浮き、はがれなど劣化している旧塗膜、じんあい、汚れは皮スキ、ブラシ、サンダーなどで除去清掃する。 ・かびの発生箇所は、ホワイター(塩化系漂白剤)を塗布し、汚れやかびを漂白処理する。 その後ウェスでホワイターの残滓を拭き取り、更にカビデッド(除菌剤)を塗布する。					
下塗り	モルシュ LSターベン	100 (はけ・ローラー) 0~10 (スプレー) 10~15	0.12~0.14	1	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
上塗り	モルシュ LSターベン	100 (はけ・ローラー) 0~10 (スプレー) 10~15	0.12~0.14	1	(最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

〔塗装上の注意事項〕

- 刺激臭はほとんどありませんが、溶剤系塗料ですので有機溶剤中毒を起こすおそれがあります。密閉された場所では、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を付けて作業してください。
- 希釈剤には LS ターベンを用い、均一にかくはんしてください。
(塗料用シンナーでの希釈もできますが、臭いがつきます。)
- 湿度 85% 以上、降雨、降雪、結露が予想される場合、また素地が凍結している場合は塗装を避けてください。
- 塗替時は、事前に既存塗膜を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
- 塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、割れやふくれなどを発生することがあります。
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。
- 薄めすぎは、仕上がりムラ、ダレ、とまり不良の原因になります。
- 塗付量は標準的な数値です。下地の形状や、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
- ケイカル板、風化の著しいセメントリシン面などは、ラフトンエポキシシーラー、ワイドシーラー EPO を塗装し、下地を補強してください。
- しっくい、繊維壁などのぜい弱下地の場合、はがれ、浮きを生じる恐れがありますので、塗装は避けてください。
- パテ補修などで下地に吸い込みの異なる箇所がある場合、仕上がりムラとなることがありますので、あらかじめラフトン EM シーラーなどを塗装し、吸い込みを均一にしてください。
- 外壁などのパテ補修は、はく離の原因になります。セメント系下地調整塗材(ラフトンフィーラー)で処理してください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、あらかじめラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は 2 回塗りしてください。シリコーン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- 温泉、公衆浴場、温水プールなど、常時加湿状態になる場所では、シミ、はくりの原因になりますので、使用を避けてください。
- ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑剤を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生や剥離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ベンチ、ジャングルジムなどが乗るもの、またテーブル、カウンター、棚などものを置くものへの塗装は避けてください。
- 塗装器具の洗浄には、LS ターベンよりも溶解力の強い、塗料用シンナー、ラッカーシンナーなどを使用してください。
- エアレス塗装の場合は、飛散に十分注意し、養生等を行ってください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を生じることがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

容 量

・モルシュ 白および淡彩色 16kg

取扱い上の注意事項

- 引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 臭いは、食品・飲料器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
- 特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
- 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、詳細な内容が必要なおときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

17/10